

2015-B					
拠出金・基金の 名称		赤十字国際委員会拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】赤十字国際委員会					
【所管官庁担当局課・室名】外務省国際協力局緊急・人道支援課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 難民、国内避難民等の紛争犠牲者の救援、国際人道法の発展・普及、捕虜・文民抑留者等の支援。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千スイスフラン)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	5,185,477	47,140	1,650	1米ドル=110円 1スイスフラン=116円	100
平成26年度	2,921,435	22,840	1,938	1米ドル=97円 1スイスフラン=104円	100
平成25年度	2,710,754	30,600	2,290	1米ドル=82円 1スイスフラン=88円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ICRCは、アフガニスタン、シリア等の中東諸国並びにアフリカ諸国を中心に、治安状況や政治的な理由で我が国が二国間で支援することが困難で他の国際機関も活動できない場所においても、高い独立性、中立性を維持することにより、紛争当事者の信頼を得て、積極的に活動を行っている。紛争下における脆弱者に対するICRCの支援活動は、我が国が推進する「人間の安全保障」の実現に大きく貢献するものであり、ICRCを通じた支援は平和で安定した国際社会の実現を目指す「積極的平和主義」にも繋がると評価。 2015年、人道状況の悪化が著しいアフガニスタンやイラク等の中東諸国並びに南スーダンやソマリア等アフリカ諸国におけるICRCの活動を支援したが、これら諸国内にはICRC以外の人道支援機関が活動できない地域も多く、その活動は緊急かつ不可欠である。 ICRCは、その独立性、中立性を維持するため特定のドナー国の意見をICRCの意志決定プロセスに直接反映させることはないが、毎年開催される支援国会合等を通してドナー国との意思疎通を図っている。 ICRCは、現地で活動する赤十字社・赤新月社と協力することにより、より効率的な活動を実施することを目指しており、また人事改革を行い機能強化を図っている。さらに、定期的に主要ドナーに会計報告を開示しており、透明性は非常に高い。					